

地域・在宅看護実習 I (高齢者の暮らしを支える支援) / 1学年

1. 実習目的

地域で暮らす高齢者と接し、生活者としての対象の理解を深めるとともに、住み慣れた地域でその人らしい生活を送るための看護のあり方を考える。

2. 実習目標

- 1) 地域で暮らしている高齢者とその家族の生活の実際を知り、地域・在宅の暮らしについて考える。
- 2) 高齢者の生活や活動を支えるための支援について知る。
- 3) 地域包括ケアシステムを通じた看護の役割と多職種連携について主体的に学習する。

3. 実習内容

1) デイサービスセンター

一般目標	行動目標	実習内容
1. デイサービスセンターを利用する人や利用する目的を知り、支援の必要性を考える。 (実習目標1,2)	1) 地域で生活する高齢者の生活と健康について考え、述べるができる。 2) デイサービスセンターを利用する人や利用する目的を知り、支援の必要性について述べるができる。	(1) 利用者の健康状態、生活状況 (2) 施設内の日課 (3) 職員とその役割 (4) 利用者とのコミュニケーション (5) 日常生活の援助場面の見学 ・食事観察および介助 ・リハビリテーション ・レクリエーション
2. デイサービスの役割と、地域における看護のあり方について主体的に学習する。 (実習目標3)	1) デイサービスセンターの役割と、地域における看護のあり方について述べるができる。	(1) デイサービスセンターの機能と役割 (2) 在宅看護にかかわる諸制度 ・介護保険制度、各福祉制度 (3) 地域包括ケアシステム (4) 多職種協働の実際

2) 老人福祉センター

一般目標	行動目標	実習内容
1. 老人福祉センターを利用する人や利用する目的を知る。 (実習目標1,2)	1) 老人福祉センターを利用する人や利用する目的について述べるができる。 2) 地域で生活する高齢者の生活と健康について考え、述べるができる。	(1) 利用者とのコミュニケーション (2) 健康状態の観察 (3) 施設内の日課 (4) 生活環境 (5) レクリエーションに参加
2. 老人福祉センターの役割について、主体的に学習する。 (実習目標3)	1) 老人福祉センターの役割について述べるができる。	(1) 在宅看護にかかわる諸制度 (2) 高齢者の加齢変化 (3) 地域包括ケアシステム

3) 地域包括支援センター

一般目標	行動目標	実習内容
1. 地域包括支援センターを利用する人や利用する目的を知り、支援の必要性と問題解決の方法を知る。 (実習目標1,2)	1) 地域包括支援センターを利用する人や利用する目的を知り、支援の必要性と問題解決の方法について述べるができる。	(1) 利用者の健康問題と生活 (2) 家族の抱える問題と負担 (3) 暮らしていく上での問題と必要な支援 (4) 地域の特性 (5) 自助・互助・共助・公助
2. 地域包括支援センターの役割と、地域における看護のあり方について主体的に学習する。 (実習目標3)	1) 地域包括支援センターの役割と、地域における看護のあり方について述べるができる。	(1) 地域包括ケアシステム (2) 地域包括支援センターの機能・役割 ・総合相談・支援事業 ・介護予防ケアマネジメント ・包括的・継続的ケアマネジメント (3) 在宅看護にかかわる諸制度 (4) 関係機関との連携・協働

#### 4. 実習時間(単位)

総時間 30時間(1単位)

- 1) デイサービスセンター:9:00~16:00(8時間)×1日  
 釧路鶴ヶ岱啓生園、釧路昭和啓生園、釧路北園啓生園の中の1施設
- 2) 老人福祉センター:9:00~12:45(5時間)×1日  
 釧路市内の老人福祉センターの中の1施設
- 3) 地域包括支援センター:9:00~12:00(4時間)×1日  
 釧路市(東部南・東部北・中部南・中部北・西部)地域包括支援センターの中の1施設
- 4) 学内実習(13時間0.43単位)

##### ①実習施設について学習:9:00~15:15(7時間)

目的: 施設の概要を学び、職員の働きや地域の高齢者の暮らしを深く知る。

内容: 施設の役割や職員、訪れる人はどんな人かについてグループで調べてノートにまとめる。各施設に関して、疑問や質問を明らかにする。

##### ②学びの共有:9:00~14:30(6時間)

目的: 高齢者の暮らしを支える支援について理解する。

内容: 施設の役割、高齢者の特徴と、看護が必要な場面についてグループで話し合う。地域で暮らす高齢者に必要な支援と看護についてグループごとに発表し、クラス全員で学びを共有する。

1	2	3	4	5	6	7	8
9:00~ 9:45	9:45~ 10:30	10:30~ 11:15	11:15~ 12:00	12:00~ 12:45	13:45~ 14:30	14:30~ 15:15	15:15~ 16:00
学内実習(実習施設について学習)							
デイサービスセンター							
老人福祉センター							
地域包括支援センター							
学内実習(学びの共有)							

#### 5. 実習方法

##### 1) 事前課題

施設の行動目標と学習内容を参考に、関連する資料や教科書、参考書をもとに学習しておく。

##### 2) 実習中の服装

ジャージ(股上が深いもの)とポロシャツ(中が透けない物)、運動靴を着用する。

デイサービスセンターは、私服で行き啓生園で着替える。

##### 3) レポート

「地域で暮らす高齢者のための支援の実際と看護のあり方」について、レポート用紙3枚程度にまとめて記載し提出する。

#### 6. 実習記録

施設の実習では、オリエンテーションの内容や見学したこと・経験したこと、また事前学習を関連付けた考察を実習記録に記載する。

#### 7. 実習評価

地域・在宅看護実習 I 評価表を用いて評価する。

地域・在宅看護実習 I 評価表

項目	評価対象	評価基準 5点	評価基準 4点	評価基準 3点	評価基準 2~0点	点数
1	デイサービスセンター	地域で生活する高齢者を支える制度について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している	自己の考えの記載が乏しい	2
2	実習ノート	デイサービスセンターと各職種との役割について、事前学習を活かして根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している	事前学習を活かして根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している	自己の考えの記載が乏しい	2
3	実習ノート	デイサービスセンターに通う高齢者に必要な援助について、事前学習を活かして根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している	事前学習を活かして根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している	自己の考えの記載が乏しい	2
4	実習ノート	対象との関わりを通し、自己の援助や対象の反応について、事前学習をもとに根拠を明確にして評価考察し記載している	自己の援助や対象の反応について評価考察し記載している	自己の援助や対象の反応についての感想を記載している	自己の援助や対象の反応について記載していない	2
5	老人福祉センター	老人福祉センターの役割について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している	自己の考えの記載が乏しい	2
6	実習ノート	老人福祉センターに通う高齢者に必要な援助について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している	事前学習を活かして根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している	自己の考えの記載が乏しい	2
7	実習ノート	対象との関わりを通し、自己の援助や対象の反応について、事前学習をもとに根拠を明確にして評価考察し記載している	自己の援助や対象の反応について評価考察し記載している	自己の援助や対象の反応についての感想を記載している	自己の援助や対象の反応について記載していない	1

項目	評価対象	評価基準 10点	評価基準 8点	評価基準 6点	評価基準 4~0点	点数
8	地域包括支援センター	地域包括支援センターと各職種の機能と役割について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している	自己の考えの記載が乏しい	4
9	実習ノート	地域包括支援センターを利用する高齢者と家族の暮らしや介護の問題について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している	事前学習を活かして根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している	自己の考えの記載が乏しい	4
10	実習ノート	包括支援センターでの実習を通し、高齢者の暮らしに必要な看護の役割について考えを記載している	事前学習を活かして根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している	自己の考えの記載が乏しい	3
11	主体的学習態度	事前学習を活用したり、自ら文献を調べたり、質問したりしながら学習している	助言を受け、文献を調べたり、質問したりしながら学習している	助言を受け、文献を調べたり、質問したりしながら概ね学習できている	助言を受け、文献を調べたり、質問があまりできず、学習が不十分である	3
12	身体調理性	身だしなみが整えられ、清潔感がある 口清潔感のある実習衣・髪・爪・口化粧 口髪どめや安全ピンなどの危険な装飾がない 自らの体調を整えて実習に臨むことができている 口欠席がない 口欠席がない 口欠席がない 口欠席がない 口欠席がない 口欠席がない	欠席はあるが自らの体調を整えて実習に臨もうと努めることができている	欠席はない	華美な装飾や化粧、不潔やしななを感じさせるなど、身だしなみにおいて不足している部分がある 体調管理において、必要な対処行動をとっていない	0

項目	評価対象	評価基準 5点	評価基準 4点	評価基準 3点	評価基準 2~0点	点数
13	実習後レポート	実習で得た経験や学びから、地域包括ケアシステムの内容を踏まえ、地域で暮らす高齢者のための支援の実践について以下の視点から考察し記載している □ 自助 □ 共助 □ 公助	地域で暮らす高齢者のための支援の事象について、左記の視点3つのうち2つの視点で記載している	地域で暮らす高齢者のための支援の実践について、左記の視点3つのうち1つの視点で記載している	地域で暮らす高齢者のための支援の実践について、記載されていない	1
14	学びの統合	実習で得た経験や学びから、地域包括ケアシステムの内容を踏まえ、地域で暮らす高齢者のための看護のあり方について記載している □ 入居看護 □ 外来看護 □ 在宅看護 □ 多職種連携	地域で暮らす高齢者のための看護のあり方について、左記の視点3つのうち2つの視点で記載している	地域で暮らす高齢者のための看護のあり方について、左記の視点3つのうち1つの視点で記載している	地域で暮らす高齢者のための看護のあり方について、記載されていない	1
15	レポート	レポート用紙1枚につき、2ヶ所以内の誤字・脱字、2ヶ所以内の主語・述語が対応していない部分がある	レポート用紙1枚につき、3~4ヶ所の誤字・脱字、3~4ヶ所、主語・述語が対応していない部分がある	レポート用紙1枚につき、5ヶ所以上の誤字・脱字、5ヶ所以上主語・述語が対応していない部分がある	レポート用紙1枚につき5ヶ所以上の誤字・脱字、5ヶ所以上主語・述語が対応していない部分がある	1

合計 / 100点

地域・在宅看護実習Ⅱ(子どもの暮らしを支える支援)/2学年

1. 実習目的

地域で暮らす小児とのふれあいを通し、小児の成長発達についての理解を深めるとともに、多様な場における小児とその保護者に対する、暮らしを支える看護のあり方を考える。

2. 実習目標

- 1) 地域で暮らしている小児とその保護者の生活の実際を知り、地域・在宅の暮らしについて考える。
- 2) 小児各期の生理及び成長発達の過程を理解する。
- 3) 小児及び保護者への保健指導の実際を知り、地域で生活する小児と保護者に対する社会資源の活用について学ぶ。

3. 実習内容

1) 保育所

一般目標	行動目標	実習内容
1. 保育所を利用する目的や家庭の状況を知り、支援の必要性を理解する。(実習目標1,3)	1) 小児と親しみを持って関わることができる。	(1) 成長発達段階(形態的・機能的・精神運動機能の発達)
2. 就学前の小児の生理および成長発達の過程について理解する。(実習目標2)	2) 遊びを通し、乳幼児の形態的成長、精神・運動機能の発達について述べる ことができる。	(2) 遊びと成長・発達の関連(遊具・玩具の種類、小児間の関係)
	3) 保育所を利用する目的や家庭の状況について述べる ことができる。	(3) 食事、排泄の習慣としつけ(食事時の環境、観察・排泄トレーニング)
	4) 保育所の役割と、地域における看護のあり方について述べる ことができる。	(4) 睡眠状態の観察(睡眠環境の整え方、睡眠習慣としつけ)
		(5) 清潔・衣服の着脱(清潔習慣としつけ、衣服の選択、衣服の着脱の介助)
		(6) 保育所の1日の流れと活動内容
		(7) 利用者と家族の暮らし

2) 児童館

一般目標	行動目標	実習内容
1. 児童館を利用する目的や家庭の状況を知り、支援の必要性を理解する(実習目標1,3)	1) 児童館を利用する小児と親しみを持ってかかわることができる。	(1) 児童館の1日の流れと活動内容
2. 児童館を利用する小児と生理および成長発達の過程について理解する。(実習目標2)	2) 小児の形態的成長、精神・運動機能の発達や社会性について述べる ことができる。	(2) 職員とその役割、安全管理
	3) 児童館の役割と、地域における看護のあり方について述べる ことができる。	(3) 利用する小児の成長発達段階(形態的・機能的・精神運動機能の発達)
		(4) 遊びと成長・発達の関連、小児間の関係
		(5) 利用者とその家族の暮らし

3) 子育て支援センター

一般目標	行動目標	実習内容
1. 子育て支援センターを利用する目的を知り、支援の必要性を理解する。(実習目標1,3)	1) 子育て支援センターを利用する目的や家庭の状況について述べる ことができる。	(1) 子育て支援センターの活動内容 子育て親子の交流、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習等の実施
2. 子育て支援センターを利用する保護者と接し、小児の生理および成長発達の過程について理解する。(実習目標2)	2) 子育て支援センターを利用する保護者と接し、小児の生理および成長発達の過程について理解 できる。	(2) 職員とその役割
3. 子育て支援センターを利用する人の目的を知り、支援の必要性と問題解決の方法について知る。(実習目標1,3)	3) 子育て家族への支援の必要性と問題解決の方法について述べる ことができる。	(3) 利用する小児の成長発達段階(形態的・機能的・精神運動機能の発達)
	4) 子育て支援センターの役割と地域における看護のあり方について述べる ことができる。	(4) 利用者とその家族の暮らし
		(5) 利用者や家族の抱える問題と負担
		(6) 地域包括ケアシステム

#### 4. 実習時間(単位)

総時間 30時間(1単位)

1) 保育所:9:00~16:00(8時間)×2日

市立釧路総合病院院内保育所、新富士保育所、桜ヶ岡保育所、鳥取保育所、芦野保育所の中の1施設

2) 児童館:13:45~17:30(5時間)×1日

釧路市内の児童センターの中の1施設

3) 子育て支援センター:9:00~12:45(5時間)×1日

釧路市(東部・中部・西部)子育て支援センターの中の1施設

4) 学内実習(学びの共有)(4時間0.13単位)

目的: 小児の暮らしを支える支援について理解する。

内容: 施設の役割や小児の特徴についてグループで話し合う。地域で暮らす小児に必要な支援についてグループごとに発表し、クラス全員で学びを共有する。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9:00~ 9:45	9:45~ 10:30	10:30~ 11:15	11:15~ 12:00	12:00~ 12:45	13:45~ 14:30	14:30~ 15:15	15:15~ 16:00	16:00~ 16:45	16:45~ 17:30
保育所									
保育所									
						児童館			
子育て支援センター									
学内実習(学びの共有)									

#### 5. 実習方法

1) 事前課題

施設の行動目標と学習内容を参考に、関連する資料や教科書、参考書をもとに学習しておく。

2) 実習中の服装

ジャージ(股上が深いもの)とポロシャツ(中が透けない物)、運動靴を着用する。

3) レポート

「地域で暮らす小児のための支援の実際と看護のあり方」について、レポート用紙3枚程度にまとめて記載し提出する。

#### 6. 実習記録

施設の実習では、オリエンテーションの内容や見学したこと・経験したこと、また事前学習を関連付けた考察を実習記録に記載する。

#### 7. 実習評価

地域・在宅看護実習Ⅱ評価表を用いて評価する。

地域・在宅看護実習Ⅱ評価表

項目	評価対象	評価基準 5点	評価基準 4点	評価基準 3点	評価基準 2~0点	点数	
1 2 3 4 5 6 7	保育所 実習ノート	地域で生活する小児を支える制度について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している。	自己の考えの記載が乏しい	2	
		保育所と各職種の役割について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している。	自己の考えの記載が乏しい	2	
		保育所に入所する小児に必要な援助について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している。	自己の考えの記載が乏しい	2	
		対象との関わりを通し、自己の援助や対象の反応について、事前学習をもとに根拠を明確にして評価考察し記載している。	自己の援助や対象の反応についての感想を記載している。	自己の援助や対象の反応についての感想を記載している。	自己の援助や対象の反応について記載していない。	2	
		児童館と各職種の役割について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している。	自己の考えの記載が乏しい。	2	
		児童館に通う小児に必要な援助について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している。	自己の考えの記載が乏しい。	2	
		対象との関わりを通し、自己の援助や対象の反応について、事前学習をもとに根拠を明確にして評価考察し記載している。	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している。	自己の考えの記載が乏しい。	1	
8 9 10 11 12	子育て支援センター 実習ノート	子育て支援センターと各職種の機能と役割について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している。	自己の考えの記載が乏しい。	4	
		子育て支援センターを利用する小児の成長発達の特徴と、保護者の暮らしやかかえる問題について、事前学習を活かして根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している。	自己の考えの記載が乏しい。	4	
		子育て支援センターでの実習を通して、子育て世帯の暮らしに必要な看護の役割について考えを記載している。	事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことはできていないが、自己の考えを記載している。	自己の考えの記載が乏しい。	4	
	主体的学習態度	自己学習	事前学習を活用したり、自ら文献調べたり、質問したりしながら学習している。	助言を受け、文献調べたり、質問があまりできず、学習がやや不十分である。	助言を受け、文献調べたり、質問があまりできず、学習が不十分である。	3	
	身体調り管理	出勤状況	身だしなみが整えられ、清潔感がある。 口清潔感のある実習衣・髪・爪、口化粧、口名札 口髪どめや安全ピンなどの危険な装飾がない 自らの体調を整えて実習に臨むことができている。 口欠席がない。 口体調不良があれば自ら申し出て必要な対応ができる。	助言を受け、文献調べたり、質問があまりできず、学習がやや不十分である。	助言を受け、文献調べたり、質問があまりできず、学習が不十分である。 善美な装飾や化粧、不潔やだらしないさを感ぜさせるなど、身だしなみにおいて不足している部分がある。	0	
	項目	評価対象	評価基準 10点	評価基準 8点	評価基準 6点	評価基準 4~0点	点数
	13 14 15	学びの統合 実習後レポート	実習で得た経験や学びから、地域包括ケアシステムの内容を踏まえ、地域で暮らす小児のための支援の実際について以下を踏まえ、地域で暮らす小児のための看護のあり方について記載している。 口自励 口共助 口公助	地域で暮らす小児のための支援の実際について、左記の視点3つのうち2つの視点で記載している。	地域で暮らす小児のための支援の実際について、左記の視点3つのうち1つの視点で記載している。	地域で暮らす小児のための支援の実際について、左記の視点3つのうち1つの視点で記載している。	2
			実習で得た経験や学びから、地域包括ケアシステムの内容を踏まえ、地域で暮らす小児のための看護のあり方について記載している。 口入院看護 口外来看護 口在宅看護 口多職種連携	地域で暮らす小児のための看護のあり方について、左記の視点4つのうち3つの視点で記載している。	地域で暮らす小児のための看護のあり方について、左記の視点4つのうち2つの視点で記載している。	地域で暮らす小児のための看護のあり方について、左記の視点4つのうち1つ~2つの視点で記載している。	2
			口誤字・脱字がない。 口文章の主語・述語が対応している。	レポート用紙1枚につき、2ヶ所以内の誤字・脱字、2ヶ所以内の主語・述語が対応していない部分がある。	レポート用紙1枚につき、3~4ヶ所の誤字・脱字、3ヶ所~4ヶ所の主語・述語が対応していない部分がある。	レポート用紙1枚につき、5ヶ所以上の誤字・脱字、5ヶ所以上、主語・述語が対応していない部分がある。	1
	合計						100点

地域・在宅看護実習Ⅲ(疾病や障害をかかえながら暮らすための支援)／3学年

1. 実習目的

地域で療養しながら暮らす人とその家族と関わり、健康上の問題と関連する諸問題を理解し、住み慣れた地域でその人らしい生活を送るための社会資源や多職種の役割と連携の実際が理解できる。

2. 実習目標

- 1) 地域で生活しながら療養する人、あるいは障害をもちながら生活する人とその家族の抱えている問題を理解する。
- 2) 在宅療養に必要な社会資源の活用と多職種の連携について理解する。
- 3) 在宅療養における看護の役割と援助の方法を理解する。

3. 実習内容

1) 高齢者福祉施設

一般目標	行動目標	実習内容
1. 高齢者福祉施設を利用する人や利用する目的を知り、支援の必要性を理解する。(実習目標1,2) 2. 在宅療養者および家族に対するサービスの実際を学び在宅療養上の問題を理解する。(実習目標1,2) 3. 高齢者福祉施設の役割と地域における看護のあり方について主体的に学習する。(実習目標3)	1) 在宅看護を支える制度について述べるができる。 2) 保健・医療・福祉との協働の中での看護の役割を述べるができる。 3) 地域で生活する高齢者の生活と健康について考えることができる。 4) 高齢者福祉施設を利用して高齢者に対し、日常生活の援助ができる。	(1) 在宅看護に関わる諸制度(介護保険制度、健康保健法による訪問看護制度、老人訪問看護制度、地域保健および在宅療養を支える制度、各福祉制度) (2) 各サービスとの関連性について (3) 保健・医療・福祉との協働の実際 (4) 施設サービスと居宅サービス (5) インフォーマルとフォーマルなサービス (6) 日常生活の援助(リハビリテーション、利用者とのコミュニケーション、入浴介助などの清潔の援助と更衣、食事観察および介助、移動、排泄の援助)

2) 就労継続支援B型事業

一般目標	行動目標	実習内容
1. 精神に障害のある人の特性および家族の状況を知り、支援の必要性を理解する。(実習目標1,3) 2. 社会復帰活動への参加を通し、地域精神保健福祉活動の連携を理解する。(実習目標2) 3. 精神に障害のある人への就労訓練と地域における看護のあり方について主体的に学習する。(実習目標2,3)	1) 精神に障害のある人の心理的・社会的特性と健康的側面を知り、支援の必要性について理解できる。 2) 精神に障害のある人とその家族の健康と生活について考えることができる。 3) 社会復帰施設の役割と地域における看護の在り方について述べるができる。	(1) 就労継続支援B型事業を含めた社会復帰施設の役割・特徴 (2) 保健・医療・福祉との協働 (3) 社会復帰を阻害する因子 (4) 社会資源の現状 (5) 社会復帰についての問題点と解決方法 (6) 精神看護にかかわる諸制度 (7) 地域包括ケアシステム

3) 児童発達支援センター

一般目標	行動目標	実習内容
1. 地域で生活する障害のある小児とその家族を知り、支援の必要性を理解する。(実習目標1,3) 2. 児童発達支援センターの役割と地域における看護のあり方について、主体的に学習する。(実習目標1,3)	1) 児童発達支援センターを利用している小児の特性と健康的側面を知り、支援の必要性について理解できる。 2) 障害のある小児とその家族の健康と生活について考えることができる。 3) 障害のある小児とその家族がもつ問題について述べることができる。 4) 児童発達支援センターで行われている支援や指導について述べるができる。	(1) 心身の発達の遅れや障害 (2) 保育士による指導 ・生活のリズムを整える ・遊ぶ力・心とことばを育てる ・生活習慣を身につける ・機能訓練・生活指導の実際 ・就学を目指した支援 (3) 保護者への支援 ・親または介護者と小児との関わり ・親または介護者と指導員との関わり (4) 児童発達支援センターの役割と機能 (5) 地域包括ケアシステム

#### 4. 実習時間(単位)

総時間 45時間(1単位)

- 1) 高齢者福祉施設:9:00～15:15(7時間)×2日、9:00～16:00(8時間)×1日  
釧路鶴ヶ岱啓生園
- 2) 就労継続支援B型事業:9:00～16:00(8時間)×1日、9:00～16:45(9時間)×1日  
社会福祉法人釧路恵愛協会 就労継続支援B型事業所いずみの里
- 3) 児童発達支援センター:9:45～15:15(6時間×1日)  
児童発達支援センター 野のはな園

1	2	3	4	5	6	7	8	9
9:00～ 9:45	9:45～ 10:30	10:30～ 11:15	11:15～ 12:00	12:00～ 12:45	13:45～ 14:30	14:30～ 15:15	15:15～ 16:00	16:00～ 16:45
高齢者福祉施設								
高齢者福祉施設								
高齢者福祉施設								
就労継続支援B型事業								
就労継続支援B型事業								
	児童発達支援センター							

#### 5. 実習方法

##### 1) 事前課題

施設の行動目標と学習内容を参考に、関連する資料や教科書、参考書をもとに学習しておく。

##### 2) 実習中の服装

- ① 高齢者福祉施設(釧路鶴ヶ岱啓生園)  
ジャージ(股上が深いもの)とポロシャツ(中が透けない物)に施設で着替える。  
運動靴を着用する。
- ② 就労継続支援B型事業  
運動着(ジャージ等)ではない動きやすい服装とする。
- ③ 児童発達支援センター  
ジャージ(股上が深いもの)とポロシャツ(中が透けない物)、運動靴を着用する。  
強く引いて外れる可能性のある、ボタンや安全ピンなどが付いたものは、着用しない。  
髪をまとめる際のピンも禁止。名札は、エプロンに縫い付けて着用する。

#### 6. 実習記録

施設の実習では、オリエンテーションの内容や見学したこと、経験したこと、また事前学習を関連付けた考察を実習記録に記載する。

#### 7. 実習評価

地域・在宅看護実習Ⅲ評価表を用いて評価する。



地域・在宅看護実習Ⅲ評価表

項目	評価対象	評価基準 5点	評価基準 4点	評価基準 3点	評価基準 2~0点	点数
1	実習ノット	地域で生活する高齢者を支える明確な目標について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。	2
2	対象理解	社会資源の活用方法について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。	2
3	対象理解	福祉施設と各職種との役割について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。	2
4	対象理解	地域で生活する高齢者の生活状況について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。	2
5	対象理解	福祉施設に入所する高齢者に必要な日常生活援助について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。	2
6	援助の実践	職員と共に、以下の項目に留意して援助できている。 <input type="checkbox"/> 安全管理 <input type="checkbox"/> 感染予防 <input type="checkbox"/> 安楽移送 <input type="checkbox"/> プライバシーの配慮 <input type="checkbox"/> 対象の反応 <input type="checkbox"/> 援助前後の声かけ(援助内容や方法、わざらひ)	対象の状態に合わせて実践できているが、1~2項目不十分である。	対象の状態に合わせて実践できているが、3~4項目不十分である。	助言を受けても対象の状態に合わせて実践できず、不十分な項目が5項目以上ある。	2
7	コミュニケーション	対象と良いコミュニケーションがとれていることを行っている。 <input type="checkbox"/> 自分の考えや思いを相手に分かりやすく伝える <input type="checkbox"/> 話し言葉(敬称・目録・相見)	対象の話をよく聞いてはいるが、自分の考えや思いを伝えていない。または伝えてはいるが、分かりづらい。	対象の話を聞いてはいるが、理解できていないため、自分の考えや思いを伝えていない。	自分の話を聞いてはいるが、理解したり自分の考えや思いを伝えていない。	2
9	主体的学習態度	自分の課題解決に向け実習に臨み、学習を進めている。 <input type="checkbox"/> 事前学習 <input type="checkbox"/> 自分から新しい所見を積極的に発表しようとする <input type="checkbox"/> 身だしなみが整えられ、清潔感がある <input type="checkbox"/> 清潔感のある実習衣(髪・爪 <input type="checkbox"/> 化粧 <input type="checkbox"/> 名札)	分からないことを調べたり質問し解決しようとするが、時間が必要。	学習を進めているが自己の課題に結びついていない。自分から新しい所見を積極的に発表しようとする姿勢が乏しい。	発言を進めていくに当たり、学習を進めていない。自分の分からないところを認識していない。	1
10	身だしなみ 体調管理	自分の体調を整えて実習に臨むことができている。 <input type="checkbox"/> 欠席がない <input type="checkbox"/> 体調不良があれば自ら申し出て必要な対応ができる	欠席はあるが自らの体調を整えて実習に臨もうと努めている。	学習を進めているが自己の課題に結びついていない。自分から新しい所見を積極的に発表しようとする姿勢が乏しい。	対象の話を聞いてはいるが、理解できていないため、自分の考えや思いを伝えていない。	0

就労継続支援B型実習

項目	評価対象	評価基準 5点	評価基準 4点	評価基準 3点	評価基準 2~0点	点数
1	実習ノット	地域で生活する高齢者を支える明確な目標について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察しているが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。	1
2	対象理解	精神に障害のある人の社会資源における問題点について記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。	1
3	対象理解	地域で生活する精神に障害のある人とその家族に対する看護職の役割について記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。	1
4	対象理解	精神障害に関する法に基づいた社会資源の活用方法とその役割について記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。	1
5	コミュニケーション	対象と良いコミュニケーションがとれていることを行っている。 <input type="checkbox"/> 自分の考えや思いを相手に分かりやすく伝える <input type="checkbox"/> 話し言葉(敬称・目録・相見)	自分の考えや思いを相手に伝えていない。	助言を受けると、自分の考えや思いを相手に伝えることができる。	助言を受けても、自分の考えや思いを伝えていない。	2
6	援助の実践	対象との関わりが適切で、自己の援助や対象の反応について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し記載している。	自己の援助や対象の反応について考察し記載している。	自己の援助や対象の反応についての認識を記載している。	自己の援助や対象の反応についての認識が乏しい。	1
7	主体的学習態度	自分の課題解決に向け実習に臨み、学習を進めている。 <input type="checkbox"/> 事前学習 <input type="checkbox"/> 自分から新しい所見を積極的に発表しようとする <input type="checkbox"/> 身だしなみが整えられ、清潔感がある <input type="checkbox"/> 清潔感のある実習衣(髪・爪 <input type="checkbox"/> 化粧 <input type="checkbox"/> 名札 <input type="checkbox"/> 髪型や安全ピンなどの危険な装飾がない)	分からないことを調べたり質問し解決しようとするが、時間が必要。	学習を進めているが自己の課題に結びついていない。自分から新しい所見を積極的に発表しようとする姿勢が乏しい。	自分の話を聞いてはいるが、理解できていないため、自分の考えや思いを伝えていない。	1
8	身だしなみ 体調管理	自分の体調を整えて実習に臨むことができている。 <input type="checkbox"/> 欠席がない <input type="checkbox"/> 体調不良があれば自ら申し出て必要な対応ができる	欠席はあるが自らの体調を整えて実習に臨もうと努めている。	学習を進めているが自己の課題に結びついていない。自分から新しい所見を積極的に発表しようとする姿勢が乏しい。	自分の話を聞いてはいるが、理解できていないため、自分の考えや思いを伝えていない。	0

児童発達支援センター

項目	評価対象	評価基準 4点	評価基準 3点	評価基準 2点	評価基準 1点	評価基準 0点	点数
1	対象理解	児童発達支援センターの役割と看護職の役割について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。		
2	対象理解	地域で生活する障害のある小児とその家族への支援の内容について、事前学習をもとに根拠を明確にしながら考察し、具体的に記載している。	事前学習を活かすことではできていないが、記載の具体性が乏しい。	事前学習を活かすことではできていないが、自己の考えを記載している。	考察が不十分であり自己の考えの記載が乏しい。		
3	身だしなみ 体調管理	身だしなみが整えられ、清潔感がある。 <input type="checkbox"/> 清潔感のある実習衣(髪・爪 <input type="checkbox"/> 化粧 <input type="checkbox"/> 名札 <input type="checkbox"/> 髪型や安全ピンなどの危険な装飾がない)	欠席はあるが自らの体調を整えて実習に臨もうと努めている。	学習を進めているが自己の課題に結びついていない。自分から新しい所見を積極的に発表しようとする姿勢が乏しい。	自分の話を聞いてはいるが、理解できていないため、自分の考えや思いを伝えていない。		

合計

100点

地域・在宅看護実習Ⅳ(疾病や障害をかかえながら暮らすための看護) / 3学年

1. 実習目的

地域で療養しながら暮らす人とその家族の健康上の問題と関連する諸問題を理解し、保健医療および福祉の実態をとらえ、看護の機能と役割を果たす能力を養う。

2. 実習目標

- 1) 地域で生活しながら療養する人、あるいは障害をもちながら生活する人とその家族の抱えている問題を理解する。
- 2) 在宅療養における看護の役割を理解し、看護師とともに基本的な援助ができる。
- 3) 地域包括ケアシステムにおける多職種連携と看護の役割を学び、継続看護の重要性について理解できる。

3. 実習内容

1) 訪問看護ステーション

一般目標	行動目標	実習内容
1. 在宅療養者とその家族を身体・心理・社会的側面から総合的にとらえることができる。(実習目標1)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 在宅療養者とその家族を理解するために必要な情報を収集できる。</li> <li>2) 在宅療養者とその家族の心理を、理解することができる。</li> <li>3) 訪問時の在宅療養者の生活環境の実態を、情報としてとらえることができる。</li> <li>4) 在宅療養者とその家族の介護負担感についての視点をもつことができる。</li> <li>5) 在宅療養者とその家族の健康問題に影響する因子をとらえ、問題点を抽出し看護計画を立案することができる。</li> </ol>	訪問看護(1事例を受け持つ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報収集</li> <li>・ 医師の指示の確認</li> <li>・ 生活を支えるための社会資源の利用</li> <li>・ 問題点の抽出</li> <li>・ 看護計画立案</li> </ul>
2. 在宅療養者とその家族への実際の援助活動を通して、看護の役割を理解できる。(実習目標1,2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 在宅療養者とその家族の生活環境や、生活習慣に応じた援助方法の必要性を理解できる。</li> <li>2) 受け持ち以外も含めた訪問予定の対象において、ステーションの看護計画に基づき、訪問目的を明確にすることができる。</li> <li>3) 看護師の指導のもと、安全安楽を考え援助することができる。</li> <li>4) 在宅療養者とその家族への援助の実際を通し、療養者および家族の反応をとらえ、評価することができる。</li> <li>5) 在宅における看護の役割と継続看護の重要性について、自分の考えを述べるることができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 援助の方向性</li> <li>(2) 援助の実施と評価</li> <li>(3) 在宅療養の意義と在宅看護の役割</li> <li>(4) 継続看護</li> </ol>
3. 保健・医療・福祉の連携と社会資源の活用方法を理解できる。(実習目標3)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 在宅療養者を支援する制度や社会資源サービスについて説明できる。</li> <li>2) 在宅療養者をささえる専門職種の活動と連携の実際を説明できる。</li> <li>3) 看護職としてのケア・コーディネートの視点について自己の考えを述べるができる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 対象を支える制度と社会資源</li> </ol>
4. 在宅療養者とその家族、および医療チームとよい人間関係を築くことができる。(実習目標1,2)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 訪問者としてのマナーに配慮し、相手を尊重した言葉づかい、態度で接することができる。</li> <li>2) 訪問時に知り得た、在宅療養者とその家族のプライバシーに、配慮できる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 訪問技術</li> <li>(2) 倫理的配慮</li> </ol>

## 2) 地域医療連携室

一般目標	行動目標	実習内容
1. 退院支援における多職種の連携と看護の役割を理解できる。(実習目標1,3) 2. 地域包括ケアシステムにおける継続看護の重要性について理解できる。(実習目標2)	1) 地域医療連携室の機能と役割について述べるができる。 2) 退院支援を必要としている状況を理解できる。 3) 在宅移行支援における病棟看護師の役割を理解できる。	(1) 地域医療連携室の機能 (2) 病院内での看護職及び多職種との連携・協働 (3) 退院支援カンファレンス (4) 地域の関係機関・多職種と連携・調整 (5) 退院支援計画・実施・評価

## 4. 実習時間(単位)

総時間 90時間(2単位)

### 1) 訪問看護ステーション:9:00～16:00(8時間)×8日

釧路地域訪問看護ステーション、釧路町訪問看護ステーション、はるとりの里訪問看護ステーションの中の1施設

### 2) 学内実習(12時間0.26単位):9:00～14:30(6時間)×2日

#### ①実習3日目

目的: 受け持ち療養者の全体像を把握する

内容: 受け持ち療養者の病態や症状、治療や看護について学習を深め、全体関連図の記載を行う。

#### ②実習7日目

目的: 療養者に対して行われている看護について理解する。

内容: 受け持ち療養者に対する援助についての意見交換を通して、自己の援助を振り返り評価・考察する。

### 3) 地域医療連携室:9:00～15:15(7時間)×2日

市立釧路総合病院 医療連携相談室

1	2	3	4	5	6	7	8
9:00～ 9:45	9:45～ 10:30	10:30～ 11:15	11:15～ 12:00	12:00～ 12:45	13:45～ 14:30	14:30～ 15:15	15:15～ 16:00
訪問看護ステーション							
訪問看護ステーション							
学内実習							
訪問看護ステーション							
訪問看護ステーション							
訪問看護ステーション							
学内実習							
訪問看護ステーション							
訪問看護ステーション							
訪問看護ステーション							
地域医療連携室							
地域医療連携室							

## 5. 実習方法

### 1) 事前課題

施設の行動目標と学習内容を参考に、関連する資料や教科書、参考書をもとに学習しておく。

### 2) 訪問看護ステーション実習では、療養者1事例を受け持ち、看護過程を展開する。

### 3) 実習中の服装

- ・ 訪問看護ステーション実習は、施設により実習衣または動きやすい服装とする。
- ・ 地域医療連携室実習では実習衣とする。

## 6. 実習記録

施設の実習では、オリエンテーションの内容や見学したこと・経験したこと、また事前学習を関連付けた考察を実習記録に記載する。

## 7. 実習評価

地域・在宅看護実習Ⅳ評価表を用いて評価する。

